

項目	説明	
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	Nuclear envelope 異常によるゲノム不安定性と発がん・悪性進展に関する研究
	研究対象者	2010 年～2025 年 3 月までの間に、当センターでがんの切除手術を受けた乳がん、肝がん、骨軟部肉腫の患者さんで、当センターの説明文書「遺伝子解析を含む医学研究への協力をお願い」の説明を受け、「子孫に受け継がれる遺伝情報を部分的に或いは全体にわたって解析すること」を含めて書面で同意して頂いている方とする。
	研究目的	次世代シーケンサーを用いたがんゲノムの詳細な解析が進行し、がん細胞のゲノム全体に広範に広がる複雑な染色体異常をベースとした新規発がん・悪性進展機構の存在が明らかとなりつつある。複雑な染色体異常の原因として核膜 (Nuclear envelope) の異常が指摘されているが、研究は端緒についたばかりである。本研究では、外科切除されたがん組織において、核膜の形成に関与するタンパク質の発現動態を免疫組織学的に解析し、異常を示す場合には、関連する遺伝子異常、ゲノム全体の遺伝子異常を調べ、当該発がん・悪性進展機構が関わるがん患者さんをどの様に治療して行くかの方針の検討に資する知見を収集する。
	研究方法	外科切除もしくは生検されたがん組織のホルマリン固定パラフィン包埋組織 (FFPE) を用いて、NE を構成あるいは形成に関与するタンパク質を免疫染色を用いて解析する。免疫染色で異常を認めた場合、FFPE 検体から DNA を抽出し、NGS による遺伝子変異解析を実施する。NE の形成に関与する遺伝子群に異常を認めた場合には、非がん組織を対象とする遺伝子解析を行い、発がんおよび悪性進展機構の詳細を明らかにする。
	個人情報保護	対象となる患者さんの診療情報には個人情報が含まれますが、氏名や住所などの情報を削り、容易に個人を特定できないように研究用の番号 (識別コード) で管理します。個人と識別コードを照合できるようにする対応表を作成しますが、パスワードロックや鍵をかけて厳重に保管し、院外へ提供することはありません。
	研究期間	西 暦 2 0 2 1 年 5 月 2 4 日 ～ 西 暦 2 0 2 8 年 3 月 3 1 日
利用又は提 供を開始す る時期	[X]総長が研究実施を許可した日 [] 西 暦 年 月 日頃 (研究の進捗によって前後いたします)	
利用する試料・ 情報の項目 (チ ェック[X]が入 った項目を利用 します)	[X]試料:	[]血漿、[]血清、[]全血、[]末梢血から抽出した DNA、 [X]病理検体(具体的に記載: 外科・生検のホルマリン固定包埋組織)、 []尿、[]糞便、[]唾液、[]胸水、[]腹水、[]脳脊髄液、 []毛髪、[]その他(具体的に記載:)
	[X]情報:	[X]診断名(臨床病期や分類、病理診断を含む)、[X]年齢、[X]生年月日、[X]性別、[X]既往歴、[X]併存疾患、[]外来日・入院日・退院日、[X]臨床検査値、[X]放射線診断や超音波検査、内視鏡検査等の画像データ、[X]臨床所見・経過 (予後追跡データを含む)、[X]ゲノムデータ、[]看護記録、[]その他(具体的に記載:)
試料・情報を 利用する者の 範囲	当センター 研究責任者	所属・氏名 病理診断科・鷺見公太
	共同研究機関 および責任者	なし
	その他の機関	なし
試料・情報の利用停止および 情報公開に関する窓口	施設名：神奈川県立がんセンター 所属：病理診断科 氏名：鷺見公太 連絡先：045-520-2222 利用停止のお申し出は 2026 年 5 月 31 日までをお願いいたします ただし、お申し出いただいた時にすでにデータが固定され、研究成果が論文などで公表されていた場合には、患者さんのデータを廃棄できない場合があります	